

「闇バイト」を「自分ごと」として考える授業実践の検討

東京都立神代高等学校 情報科主任教諭

稲垣 俊介

稲垣 俊介 博士(情報科学)

※「情報モラル教育」をはじめ、情報教育の研究と実践をしています



- 東京都立神代高等学校 情報科主任教諭
- 全国高等学校情報教育研究会 第16回東京大会(2023年度大会) 大会事務局長
- 情報モラル教育の実践と研究
 - スマホ世代の子どものための主体的・対話的で深い学びにむかう情報モラルの授業(共著 日本標準)
 - スマホ世代の子どものための情報活用能力を育む情報モラルの授業 2.0(共著 日本標準)
 - 博士学位論文「高校生のインターネット依存傾向に関連する心理・行動特性の研究」
 - 修士学位論文「高校生のためのソーシャルスキルトレーニングと質問紙法によるアセスメントの研究」

その他多数

- 筑波大学・國學院大學 非常勤講師
- 教科書「情報Ⅰ」、問題集、書籍の執筆や新聞への寄稿

1. 本発表の概要

2. 目的

3. 方法

4. 結果

5. 考察

6. まとめと今後の課題

1. プレゼンの結論

1. プレゼンの結論

「闇バイト」を「自分ごと」として考えさせる実践

1. 本発表の概要

2. 目的

3. 方法

4. 結果

5. 考察

6. まとめと今後の課題

2.実践の検討

2. 実践の検討

「自分ごと」とするために、「自分」(たち)で調べる

「闇バイト」とは何か？

- 特殊詐欺とは何か？ → オレオレ詐欺など
- なぜ「闇バイト」に関わるようになったのか？ → SNSなど
- (高校生は)どのような役割をさせられるのか？ → 受け子が多い
- 一度やったらどうなるのか → 個人情報握られて、やめられない

1. 本発表の概要

2. 目的

3. 方法

4. 結果

5. 考察

6. まとめと今後の課題

3. 実践例

3. 実践例

「問題解決」の実践



- 特殊詐欺とは何か？
- なぜ「闇バイト」に関わるようになったのか？
- (高校生は)どのような役割をさせられるのか？
- 一度やったらどうなるのか？

1. 本発表の概要

2. 目的

3. 方法

4. 結果

5. 考察

6. まとめと今後の課題

4. 「まとめ」で伝えること

4. 「まとめ」で伝えること

- SNSはあなたが「普通に生きていたら出会わない人」とも出会う
- 「個人情報」をSNSを通じて知らせることはしない
- 少しでも「おかしい」と思ったら、身近な「大人に相談する」
- もし、身近な大人に相談できなければ「警察に相談する」
- 完全な「犯罪」であるため、関わってしまうと人生が台無しになる

5. いただいたご質問より

5. いただいたご質問より

- 偽情報の見極め方をどのように児童生徒自身に考えさせていくか具体的な実践例を知りたい
- ほとんどの生徒は問題ないのですが、危険性を丁寧に話しても自分だけは大丈夫、との安易な思いを持ってしまう生徒も少なからずいると思われます。深く考えずに闇バイトに手を出してしまう生徒への手立てをどのようにすればよいのか、どのような話をすればそういった生徒の自制を引き出せるのか、伺えるとありがたいです。
- 子ども達が大人になって、自分の子ども達にも次々と出てくる情報犯罪に指導対応できるように変化に対応する力を身に付けさせたい。(質問ではないですが、触れて頂けたらと思い記入しました)

実例から「自分ごと」として考えさせてみてはははどうでしょう

1. 本発表の概要

2. 目的

3. 方法

4. 結果

5. 考察

6. まとめと今後の課題

6. まとめ

6. まとめ

生徒に「闇バイト」の知識を身につけさせることは重要

情報モラルの知識の伝達は「指導」になってしまいがち

「予想」「調査」「考察」「発表」の活動によって知識が身につく

自分たち身につけた知識は「自分ごと」として身につく